

平成26年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	音楽 I	2	1	ON1 !	RECORDER BOOK

到達目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	<p>(a)歌唱表現 曲種に応じた発声の工夫、視唱力の伸長、合唱における表現の工夫          (b)器楽表現 リコーダーやクラシックギターの体験と奏法の工夫、視奏力の伸長、合奏における表現の工夫</p> <p>◆生徒の主体的な授業への参加を重視する</p>

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	発声の基礎	呼吸法、共鳴など発声の基礎を習得する	
5月	器楽①	アルトリコーダーの基本的な奏法を習得し視奏力を養う	実技考查 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
6月	合唱①	混声4部合唱の響きを感じ取る 視唱力を養う	
7月			
8月	器楽②	リコーダーのいろいろな奏法を習得し、アンサンブルを体験することにより表現の工夫をする	
9月	合唱②	混声4部合唱を作り上げる中で表現の工夫をする アンサンブルも取り入れて聞きながら演奏する練習をする	
10月			
11月	器楽③	クラシックギターの基本的な奏法の習得と鑑賞	
12月			
1月	器楽④	ギター和音奏法やアルアイレ奏法を学習し表現の幅を広げる アンサンブル発表を通して表現の多様を感じ取る	
2月	合唱③	パートの役割を意識し、主体的に合唱を作り上げる	
3月			

**平成26年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）**

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	美術Ⅰ	2	1	高校美術1（日本文教出版）	美術 表現と技法（日本文教出版）

<b>到達目標</b>	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
<b>到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)</b>	<p>A : 表現について : ①「絵画と彫刻」●感じ取ったこと、自己の考え、夢や想像などを基にする課題テーマの表現●表現形式を含める創造的な表現の構想●デッサン、色彩、構成、材料や用具の生かし方などの技能●課題意図に応じた多様な表現方法の創意工夫②「デザイン」●機能と美しさや楽しさを考えた課題テーマの表現●造形要素の理解と創造的な表現の構想●アイディアスケッチ、色彩、材料や用具の生かし方などの技能●課題意図に応じた多様な表現方法の創意工夫。</p> <p>B : 鑑賞について : ●美術作品のよさや美しさ●作者の心情や意図と表現の工夫●生活や自然と美術の関連●日本の美術の歴史と表現の特質</p> <p>* 1学年の授業テーマとして、「制作力（集中力・気力・体力）を培う」を設ける。</p> <p>* 地域連携の課題制作やインドネシアのバリ州国立ウブド第一高校との作品を通じた交流を図り、高大連携の観点から大学の先生に授業を行って戴く。</p> <p>* 豊中市・大阪府・日本国が主催するコンクール展に参加する。</p> <p>* 授業作品を外部に発表し展示する機会を多く設ける。</p>

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	○絵画・デザイン（平面）の各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。	絵画A－「坂道の自画像」をテーマとし、絵画表現する。 絵画B－「子供のころのなつかしい思い出」から発想し、絵画表現する。 デザインA－「風」「星」「森」の中から一つ選び、そのイメージとその選んだ文字を画面に構成する。 デザインB－「窓」と「旅人・夢・秋・写真」の中から二つ選んで、3つのことばから発想するイメージとその題名を構成する。	課題制作と作品 出席状況 授業への取り組み 提出物
5月		各講座ごとに作品発表鑑賞会を実施する。	
6月			
7月	○鑑賞課題の実施。	各講座ごとに作品発表鑑賞会を実施する。	
8月	○美術作品のよさや美しさを知る鑑賞の実施。	美術館や博物館、その展示会について知らせる。	
9月	○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。	絵画A－鏡を手に持った自画像を描く 絵画B－「人と自然」「人と街」「人と機械」「人と公園」からテーマを一つ選びそれぞれを構成して絵画表現する。	
10月		立体A－「力」をテーマに、立体表現する。	
11月		立体B－「遊園地あるいは公園の遊具」をテーマに立体表現する。	
12月	○鑑賞課題の実施。 ○美術作品のよさや美しさを知る鑑賞の実施。	デザインA－「日本文化の紹介」をテーマとするポスター作り デザインB－構成要素の言葉から物語を作り絵コンテを作る 各講座ごとに作品発表鑑賞会を実施する。 美術館や博物館、その展示会について知らせる。	
1月	○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。	作品の大小や制作時間数と作品の良し悪しは関係しないことを体験する。	
2月		絵画A－「森の中で瞑想する私」をテーマとし、絵画表現する。	
3月		絵画B－「今朝の出来事」「私の町」のいづれかのテーマを自分自身と関連づけて絵画表現する。 立体A－「柔らかい」をテーマに、立体表現する。 立体B－「21世紀のシンボル」をテーマとする立体表現。 デザインA－「MOON LIGHT」をテーマとするデザイン表現 デザインB－「歩く」をテーマとする4枚1組のイラストと文章による伝達。	

平成26年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	書道 I	2	1	書 I (光村図書)	ペン字テキスト基本編

到達目標	書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てると共に、感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大筆、中筆の使い方のみならず、小筆による実用的な表現の学習も積み重ねます。</li> <li>・硬筆練習の課題や、様々な展覧会の鑑賞の勧め、鑑賞指導なども含め幅広い書教育をめざします。</li> </ul>

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	書道授業概説	「書写」と「書道」との関連と違いについて。	提出作品
	楷書による学習	墨、筆のできるまで。（ビデオなど） 書体の変遷について理解する。	鑑賞ノートレポート
5月		楷書体の書風の違いを考え、表現してみる。	出席状況
6月	漢字かな交じりの書の学習	用筆を習得する。半切画仙紙での臨書。	授業への取り組み
	漢字仮名交じりの書	造像記を踏まえ、楽しい書の表現を体験する。	
	篆刻の学習		
7月		「うちわ」制作なども含む 篆書の学習と氏名印の制作。	
8月			
9月	行書の学習	行書の成り立ちを理解する。 行書の用筆運筆法を習得する。 蘭亭序(王羲之について理解する。) 画仙紙での臨書。	
10月			
11月			
12月			
1月	かなの学習	仮名の成り立ちを理解し、基本的な用筆・運筆法の習得。 古典の臨書を通して、変体仮名に親しむ。	
2月			
3月			

**平成26年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）**

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	音楽Ⅱ	2	2	高校生の音楽2	自主教材プリント

<b>到達目標</b>	音楽の諸活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、音楽文化についての理解を深め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。
<b>到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)</b>	<p>(a) 歌唱表現 声域の拡張と豊かな発声、視唱力の充実、合唱における豊かな表現</p> <p>(b) 器楽表現 クラシックギターの奏法の習熟、視奏力の充実、個性豊かな表現</p> <p>(c) 創作 歌詞の内容を生かした声楽曲の創作、楽器の特性を生かした器楽曲の創作 いろいろな音素材を生かした創作</p> <p>◆生徒の主体的な授業への参加を重視する</p>

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	器楽①	クラシックギターの奏法を深め、アンサンブル活動を通して表現の工夫をする 視奏力の充実を図る	実技考查 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
5月			
6月	合唱①	混声四部合唱を体験し表現の幅を広げる 視唱力の充実を図る	
7月			
8月	器楽②	ギターの弾き語りを演奏することにより表現の工夫をする	
9月	合唱②	大人数の合唱をホールで演奏する体験を通して合唱の醍醐味を味わう	
10月	創作①	いろいろな音素材を使って自由な表現を試みる	
11月			
12月			
1月	合唱③	アンサンブルを体験し、アレンジも含め表現の工夫をする	
2月	演奏会を創る	音楽Ⅰ・音楽Ⅱで学んだことを土台にしながら、グループアンサンブルに取り組み、豊かな表現の工夫をする	
3月			

**平成26年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）**

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	美術Ⅱ	2	2	高校美術2（日本文教出版）	美術 表現と技法（日本文教出版）

<b>到達目標</b>	美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、美術文化についての理解を深め、個性豊かな美術の能力を高める。
<b>到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)</b>	<p>A : 表現について : ①「絵画と彫刻」 ●自然、自己、社会などを見めた課題テーマの表現 ●心豊かな表現の構想と様々な表現形式や材料と技法の活用 ●創造的な表現の追及 ②「デザイン」 ●生活を心豊かに創造する主題の生成 ●美的、効果的な表現の構想と材料、技法の活用 ●創造的な表現の追求と創意工夫。</p> <p>B : 鑑賞について : ●作品や作者の個性などについての多様な見方 ●心豊かな生き方の創造にかかる美術の働き ●時代、民族、風土などによる表現の相違や共通性と美術文化</p> <p>* 2学年の授業テーマとして、「表現力（強さ・明るさ・勢い）を培う」を設ける。</p> <p>* 地域連携の課題制作やインドネシアのバリ州国立ウブド第一高校との作品を通した交流を図り、高大連携の観点から大学の先生に授業を行って戴く。</p> <p>* 豊中市・大阪府・日本国が主催するコンクール展に参加する。</p> <p>* 授業作品を外部に発表し展示する機会を多く設ける。</p>

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。	絵画A－「校内風景」をモチーフとする絵画表現。 絵画B－「地図」から発想する絵画表現。	課題制作と作品
5月	○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。	立体A－「力」をテーマとする立体造形。	出席状況
6月		立体B－「贈り物を入れるパッケージ」を立体造形。 デザインA－「日本文化の紹介」をテーマとするグラフィック。 デザインB－「歩く」をテーマとする4枚1組のストーリー伝達	授業への取り組み
7月	○鑑賞課題を芸術学の観点から実施する。	教科書P16の作品を見て、①主題②色彩③構図等この作品の表現上の特色と美術的価値を記述する。	宿題・提出物
8月	○美術作品のよさや美しさを知る鑑賞の実施。	美術館や博物館、その展示会について知らせる。	
9月	○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。	絵画A－「坂道の自画像」をテーマとし、絵画表現する。	
10月		絵画B－「今朝の出来事」「私の町」のいずれかのテーマを自分自身と関連づけて絵画表現する。	
11月		立体A－「柔らかい」をテーマに、立体表現する。 立体B－「遊園地あるいは公園の遊具」をテーマに立体表現する。 デザインA－「MOON LIGHT」をテーマとするデザイン表現 デザインB－「環境問題」をテーマとするポスター作り。	
12月	○鑑賞課題を美術史の観点から実施する。 ○美術作品のよさや美しさを知る鑑賞の実施。	「日本画の明治・大正・昭和にかけての伝承と変革」をテーマにビデオ鑑賞し、理解する。 美術館や博物館、その展示会について知らせる。	
1月	○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。	作品の大小や制作時間数と作品の良し悪しは関係しないことを体験する。	
2月		絵画A－鏡を手に持った自画像を描く	
3月		絵画B－「人と自然」「人と街」「人と機械」「人と公園」からテーマを一つ選びそれぞれを構成して絵画表現する。 立体A－「上昇」をテーマとする立体表現。 立体B－「仮面」をテーマとする立体表現。 デザインA－「窓」と「旅人・夢・秋・写真」の中から二つ選んで、3つのことばから発想するイメージとその題名を構成する。 デザインB－自分の好きな事や好きな物をアピールするデザイン。	

**平成26年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）**

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	書道II	2	2	書道II（東京書籍）	

<b>到達目標</b>	書道の創造的な諸活動を通して、書を愛好する心情を育てると共に、感性を高め書の文化と伝統についての理解を深め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばす。
<b>到達目標に向けての具体的な取組</b>  (指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己を表現する作品制作を多く取り入れます。毛筆の作品制作のみならず、拓本や木版での作品作り、また長条幅という長い画仙紙を宙吊りにして書くというユニークな方法にも挑戦してもらいます。</li> <li>一年からの小筆練習を続けます。・折々の硬筆練習</li> </ul>

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	篆書の学習	文字の成り立ち、篆書体の用筆法について学ぶ。	提出作品
	瓦当文の制作と拓本	篆書体で各自の好きな四字句を漢時代の瓦当文の構成で制作。 上記作品を石膏ボードに刻し、拓本を採取、拓本の取り方を学ぶ。	鑑賞ノートレポート
5月	硬筆 消しゴムハンコと 漢字仮名交じりの書	手紙・葉書・のし袋の書き方など、実用的な規範を学ぶ。 暑さ対策の為、クーラーのある図書館などで制作出来るものとして。 。	出席状況 授業への取り組み
6月			
7月			
8月	鏡へのサンドblast パネル制作	自由な発想で作品制作 自分の作品をパネルに仕上げる。（裏打ちの方法など）	
9月	仮名制作	1年の学習を踏まえ、更に発展させる。	
10月	草書の学習	草書体について学習する。	
11月			
12月			
1月		王鐸の長条幅作品を画仙紙に臨書する。 王鐸が実際に行ったという宙吊りによる臨書での追体験。 「書」の本格的な世界の一端を味わう。	
2月			
3月			

**平成26年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）**

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	音楽III	2	3	Joy of Music	自主教材プリント

<b>到達目標</b>	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。
<b>到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)</b>	<p>(a) 歌唱表現 表現内容に応じた個性豊かな発声の工夫、独唱・重唱における充実した表現</p> <p>(b) 器楽表現 表現内容に応じた個性豊かな奏法の工夫、合奏における充実した表現</p> <p>生徒の主体的な授業への参加を重視する</p>

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	歌唱①	発声の基礎を学習する イタリア歌曲、ドイツ歌曲、日本歌曲をそれぞれの言語で歌い、歌詞及び曲想を生かした個性的、創造的な表現をする	実技考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
5月			
6月	器楽①	ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバスにわかれ基本的な奏法の習得に努め合奏をする	
7月		キーボードによる鍵盤実習	
8月	歌唱②	アンサンブルによる表現を工夫する グループによる編曲も工夫する	
9月			
10月	器楽②	弦楽合奏を体験し、充実した表現が出来るようにする ミニミュージカルの実演	
11月			
12月			
1月	器楽③歌唱③	演奏会形式で発表し個性豊かな表現の工夫をする	
2月			
3月			

**平成26年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）**

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術	美術III	2	3	高校美術3（日本文教出版）	美術 表現と技法（日本文教出版）

<b>到達目標</b>	美術の創造的な諸活動を通して、生涯に渡り美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。
<b>到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)</b>	<p>A : 表現について : ①「絵画と彫刻」 ●独創的な課題テーマの表現と表現形式の選択 ●個性を生かす創造的な表現の追及と創意工夫 ②「デザイン」 ●デザイン効果を考えた独創的な課題テーマの表現と表現方法の選択 ●個性を生かす創造的な表現の追及と創意工夫。</p> <p>B : 鑑賞について : ●作者の生き方や主張と作品 ●美術が国際間の理解や協調に果たす役割 ●文化遺産としての美術の特色と文化遺産等の保存の意義。</p> <p>* 3学年の授業テーマとして、「芸術力（奥行き・幅・厚み）を培う」を設ける。</p> <p>* 地域連携の課題制作やインドネシアのバリ州国立ウブド第一高校との作品を通じた交流を図り、高大連携の観点から大学の先生に授業を行って戴く。</p> <p>* 豊中市・大阪府・日本国が主催するコンクール展に参加する。</p> <p>* 授業作品を外部に発表し展示する機会を多く設ける。</p>

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。	絵画A-石膏デッサン「モリエール」。 絵画B-パット・パルマー原作の「おとなになる本」から文章を抜粋して、そこから発想するイメージを絵画表現する。 立体A-「柔らかい」をテーマとする立体造形。 立体B-「贈り物を入れるパッケージ」をテーマとする立体造形。 デザインA-「MOON L I G H T」の文字を配して一人の人物と月を主なモチーフとする平面デザイン。 デザインB-「歩く」をテーマとして4枚1組のストーリーを伝える	課題制作と作品 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
5月			
6月			
7月	○鑑賞課題を芸術学の観点から実施する。	「名作とは何か」自分の考えを論述し発表する。	
8月	○美術作品のよさや美しさを知る鑑賞の実施。	美術館や博物館、その展示会について知らせる。	
9月	○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。	絵画A-石膏デッサン「アマゾン像」。 絵画B-新聞の中から記事を選びそれをもとに鉛筆画を作る	
10月		立体A-「力」をテーマに、立体表現する。 立体B-「遊園地あるいは公園の遊具」をテーマに立体表現する。	
11月		デザインA-「日本文化の紹介」をテーマとするグラフィック。 デザインB-「環境問題」をテーマとするポスター作り。	
12月	○鑑賞課題を美術史の観点から実施する。 ○美術作品のよさや美しさを知る鑑賞の実施。	日本の江戸時代～明治にかけて西洋画とどう出会ったかをテーマとし、ビデオを見て理解する。 美術館や博物館、その展示会について知らせる。	
1月	○絵画・立体・デザインの各課題から選択して、アイディアスケッチを基に作品を制作する。	絵画A-鉛筆デッサン「静物画」 絵画B-「子供のころのなつかしい思い出」から発想し、絵画表現する。 立体A-「上昇」をテーマとする立体表現。 立体B-「21世紀のシンボル」をテーマとする立体表現。	
2月		デザインA-「風」「星」「森」の中から一つ選び、そのイメージとその選んだ文字を画面に構成する。	
3月		デザインB-構成要素の言葉から物語を作り絵コンテを作る	